

晩暑の候、先月号のご挨拶と変わらぬ厳しい暑さが続いておりますが、皆様体調を崩されていませんか。北海道ではエアコンを設置していない学校や介護施設が多く、夏休みが終わって登校するはずの学校から「危険なので登校しないように」との指示が出たというニュースを聴いて驚きました。気候変動という言葉がにわかに他人事でなくなった気がして、ここまで来ていたのか！と愕然とすると同時にインソップ物語の、狩人から身を隠してくれたブドウの葉を食べ尽くし再び発見されてしまった鹿の最期を思い出しました。…人間は好き勝手し過ぎたかもしれませんね。微力ながらゴミの分別をしっかりとるしかないかなと、庶民の頭で、穏やかな四季の復活を望む処暑でした。さあ、汗を拭き拭きコツコツ行きましょう。



各地区で燈籠祭や浮立、奉納相撲が再来！元気です！

コロナの影響で長らく自粛していた地区の燈籠祭や浮立、奉納相撲がこの夏はあちこちの地区で復活しました。



←↑8月27日(日)午後、下岩屋区では浮立練り歩きがあり、可愛い子猿の舞や勇壮な太鼓・鉦・笛の演奏が披露され、近隣の人々も外へ出て拍手で出迎えました。

8月16日(水)夕方より、下岩屋区にある熊野神社で相撲の奉納がありました。9名の稚児土俵入りでは強くて優しい力士を前に大声で泣き叫ぶ稚児に思わず笑みが。小学生や青年の戦いも迫力満点でした。



2面に続きます

今月のお花



ハゼラン (爆ぜ蘭)

花言葉：真心、永遠にあなたのもの

蘭ではなくスベリヒユ科。別名「三時草」の名のとおり午後3時から1時間ほどピンクの5弁の可愛い小花(約6mm)を咲かせる。繁殖力が強く庭先や道端でも見られるが、元は明治時代に観賞用として南米やインド諸島などの暖地から導入された。花後の実は“爆ぜる”ように中身の小さな種を放つのが名の由来。またセイロンほうれん草と言われるように多肉質の葉は生でサラダ、軽く湯がいてお浸しやバター炒めでも美味で、ビタミンA・C、鉄分、カルシウム豊富だそう。

不動山・俵坂区 燈籠祭

8月16日(水)夕方より俵坂区で燈籠祭が開催されました。

俵坂区は二班が交代で毎月、国道の清掃活動を続けて表彰されたあの地区です！今回も早い時間から区民の方々がお堂や公民館に集まり支度をされていました。日が暮れる頃には燈籠に灯りがともされ、瀟洒なお堂は幻想的な雰囲気になりました。暑い中、皆様たいへんお疲れ様でした。



下不動区 燈籠祭



8月19日(土)丹生神社での燈籠祭は班対抗けん玉・鉦浮立などでベテランに負けにくい消防団さんも活躍されていました。



不動山・丹生川区 燈籠祭



8月20日(日)夕方より川上丹生神社にて燈籠祭が行われました。消防団さんの協力も得て夏休み中の子供達も参加して賑わいました。浮立は30日です。



不動山・大舟区 燈籠祭



8月24日(木)大舟天満宮での燈籠祭では地元の方の猿回し、ラムネ飲み競争などで賑わいました。このお猿さんのかわいさよ！！



9月27日(水) 13:30~ コミュニティでシニアカー交通安全講話開催の予定です。中旬に回覧します。

文責：谷山佳世 轟・大野原地区地域コミュニティ ☎0954-43-3256 お読み頂きありがとうございます。紙面の編集上、予定していた「稚魚放流」と「手品教室」の話題は次号へ掲載させていただきます。申し訳ありません。

